

令和4年度若林区総合防災訓練に参加しました

令和4年9月16日

仙台市若林障害者福祉センター

去る令和4年9月11日（日）、仙台市立荒町小学校で開催された若林区総合防災訓練に参加しました。新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となった今回は、「コロナ禍においても災害が発生した場合は避難所を開設しなければならない。」という考えのもとで、感染症対策を講じて開催されました。

今回の訓練想定は、「8時00分頃、利府一長町線断層帯を震源に震度6強の地震が発生し、建物の倒壊など屋内外で多数の負傷者が発生し、人的・物的被害が甚大である中、荒町小学校に被災者が避難してきた。」という想定のもとで行われ、約80名が参加しました。

訓練では施設の安全確認に関する全体訓練の他、使い捨てガウンやゴーグルを着用しでの受付訓練、避難スペース確保訓練、応急救護訓練等が実施されました。規定のスペースで換算すると、荒町小学校の体育館には50名が収容できるとのことでした。

体育館は、出入り口の段差解消や多目的トイレの設置など、バリアフリー環境が整えられており、高齢者や障害のある方々などにとって避難生活がしやすいように指定避難所の福祉化が進められていることを感じました。

今後も指定避難所の福祉化が促進され、地域の防災力強化が図れるよう、福祉避難所の指定を受けている当センターも指定避難所との連携を密にしながら、体制強化につとめてまいりたいと思います。

